

CPDS・CPD

認定
講習

(予定)

現場のコミュニケーションの能力を伝授

本紙では、建設技術者を対象にCPDS・建築CPD認定講習を開催いたします。今年のテーマは、「現場力」です。現場の営業とは、模擬竣工検査とは…。今こそ、建設現場に力を入れるべきではないでしょうか。

講師陣には、株式会社 湊屋総研の吉住宗芳代表取締役が「ズバッと解決！ 竣工検査」「入札常勝・毎年表彰・売上倍増！」「工事成績ダントツ化プロジェクト」などについて県内7会場を担当いたします。また、西之表会場は、現在講師選定を行っております。

ぜひ、この機会にご参加いただき、今後の技術の向上、改善にお役に立てれば幸いです。

◆ 会場案内

- 6月3日(月) 霧島会場 国分シビックセンター
- 6月17日(月) 西之表会場 種子島建設会館
- 6月4日(火) 鹿兒島会場 鹿兒島県市町村自治会館
- 6月25日(火) 奄美会場 奄美建設会館
- 6月5日(水) 南薩会場 南さつま市総合福祉センター
- 6月26日(水) 徳之島会場 徳之島建設会館
- 6月6日(木) 鹿屋会場 リナシティかのや
- 6月7日(金) 薩摩川内会場 薩摩川内市国際交流センター

◆ 広告協賛特典：完成工事高特集号に広告1枠掲載で3人まで無料招待(2枠で6人)

※セミナーのみ受講を希望される方は、テキスト代として1人5,000円料金がかかります。
詳細はお問い合わせ下さい。

◆ 講師紹介

- ・南薩会場
- ・鹿屋会場
- ・奄美会場
- ・鹿兒島会場
- ・薩摩川内会場
- ・徳之島会場
- ・霧島会場



吉住 宗芳氏

「模擬竣工検査」を導入した企業で、会社平均点が一挙に向上して86点(県工事)、82点(国交省)、優良工事表彰が年間8件(県5・国3)。その結果、完工高が倍増するという会社が続々と現れている。そのユーザは、九州の地場企業だけでなく、関東、東海、関西圏の完工高百億円、二百億円規模の中堅企業に広がっている。

工事成績アップで重要なことは「採点基準」である。その基準を守れないために、「現場施工」や「構造物」と無関係と考えている箇所些細な減点が積み重なり、78点などという思わぬ低い点数になってしまう。工事成績をアップさせるためには、まず「採点基準の基準(約800個)」を守る必要がある。この800個の基準を漏れなく実現することはベテランでも難しい。工事成績の指導に悩む経営陣は多い。しかし、正しい採点基準を習得させ、ミスを予防できれば、どんな会社でも必ず底上げができ会社平均点が飛躍的にアップする。最も重要なことは、この方針を経営者が社内に浸透させることである。なぜなら、目標が最高点アップではなく、底上げ(最低点アップ)にあるが、社員が800個の採点基準を知らず、底上げの方法に気づいていないからである。いま竣工検査の対策をとるか否かが今年の工事成績の重大な転機となる。

県入札契約制度の動向、31年度の管内公共事業計画について、鹿兒島県から説明があります。
CPDSまたは建築CPDのカードをお持ちの方は当日、会場までお持ちください。

鹿兒島建設新聞

検索

※複数の会場で受講を希望される場合は、誠にお手数ですが本紙をコピーいただき、会場ごとに必須事項を記入の上、お送りください。

申込日：2019年 月 日

会社名		TEL	
住所		FAX	

◎参加者記入欄(枠内の人数を超える場合は、本紙をコピーしてお使いください)

	会場名	氏名	フリガナ	所属部署・役職など
1				
2				
3				
4				
5				
6				

受付は (株) 鹿兒島建設新聞 販売企画部 FAX 099・225・1936 まで